富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信 Vol.34

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663－1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://kawako-dosokai.net/

祝40周年

同窓会長 天野 績男（四期生）

今年は、河高創立40周年の大きな節目を迎えます。母校の更なる発展と40周年の大成功に同窓生として力の限り応援していきたいと思っています。

昨年7月の総会にて第7代会長を仰せつかりました4期生の天野績男です。

同窓会の素晴らしさを一人でも多くの方に知って頂けるように全力で取り組んで参りますので、よろしくお願いします。ここで一緒に活動している同窓会役員を紹介します。

顧問の3期生真田喜久雄先輩、副会長4期生高村純正・渡辺一史さん、5期生三浦信さん、8期生早川浩さん、同窓会担当の5期生渡辺繁博先生が中心になり仲良く楽しくやっています。

同窓会のメイン活動は毎年7月の年次総会です。卒業後20年目の卒業生が当番幹事になり総会や記念行事の企画・運営をしています。昨年、18期生梶原裕一郎さん達が中心になり箱根駅伝を三連覇した青山学院の原監督の講演会と総会を開催。その後の懇親会では同期生の皆様が20年ぶりの恩師や同級生との出会いに手を取り合って喜んでいる姿は、とても微笑ましかったです。

今年の幹事である19期生の皆様にも、ぜひ良い思い出づくりをして頂きたいと思います。昨年10月に同窓会役員有志メンバーで同窓会室の掃除をさせて頂きました。昔の総会の資料や懇親会の写真などを拝見し、代々の同窓生がまるで駅伝の襷のように同窓会を大切に引き継いできた想いや歴史を感じ、身が引き締まる思いがしました。

又、今まで同窓会室の場所がわかりにくかったので3期生中岡新子・長田明美理事が同窓会室入口の看板と同窓会の目的「会員相互の親睦を深め、母校の事業に賛助し、文化の発展に貢献する」の言葉を手書きで作成して頂きました。ぜひ、一新した同窓会室を見に来て下さいね。今後も変わらぬご支援をよろしくお願いします。

SGH校として
～山梨県知事の視察も～

校長 小石川 正文

こんにちは。本校への勤務も三年目となり、通算十五年目の勤務を継続しております。同窓会の皆様からは、平素より母校の教育振興のため、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本校では、在校生たちも、「文武一体」を志向し、「爽やかで　明るく活力のある」学校生活を送っています。県高校総体での活躍、関東大会出場数の多さ、インターハイでの快挙、文化部も各種全国大会への出場が見られ、詳細は、本紙の「母校部活動報告」をご覧いただきたいと思います。

これらは、本校の創立以来の教育実践、「仰峰不屈」の精神の具現化として、面目躍如たるものがあります。

特筆されるものに、昨年度からの五年間、県内では二校目、郡内地域では唯一の、「スーパー・グローバル・ハイスクールアソシエイト（SGHアソシエイト）」に、文部科学省より選定され、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成にも努めています。これまでの取組に対しては、大きな反響を呼び、併せて大きな評価を得て、今年の二月には、山梨県知事の視察の栄にも浴しました。

校長の私も、四川大学に一年間の勤務経験からか、昨秋には、中国四川省への教育交流訪問に参加し、この一月には、26年ぶり二回目の宮中歌会始の儀に、宮内庁式部官長よりの招待で宮中正殿松の間に参内してまいりました。これらの貴重な体験は折々に話し、生徒、職員に還元していくつもりです。

後輩の在校生たちも、勉学に部活動にと真剣に向き合い、日々励んでいます。現一年生は40期生、今年の9月16日には創立40周年記念式典を予定しております。この機会を大きな節目と捉え、さらなる躍進へと、教育活動に専心していきたいと思います。

同窓会員の皆様には引き続きましての温かいご支援とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。また、「豊かな心と友情」を育まれた母校にもお出かけくださいますようご案内を申し上げます。

「同窓会総会に向けて」

第38回山梨県立富士河口湖高等学校 同総会 実行委員長 牧野 剛

「河高」という馴染みある名を聞くと、つい昨日の事の様に数々の出来事が思い出されてきます。学校を選択出来る制度の中で本校を選択し、受験致しました。運良く合格し、新品の詰襟の男子学生服に身を包み校門の前に立ってから早23年が経ちました。

改めまして、第38回山梨県立富士河口湖高校同窓会総会実行委員長を拝命しました牧野剛と言います。話を頂いた時は、私にこの様な大役が務まるものか不安にもなりましたが、同じ学舎にて育った仲間達と同窓会開催に向けて、また大成功を収める為に計画・準備を進めています。この記念事業が何かの形で地域への貢献に、また、若輩だった私達（先生方から見れば、未だ若輩者だと思いますが…）を見守り育てて下さった本校への恩返しになることを望んで取り組んでいきたいと思っています。加えて、卒業して20年という大きな節目に、かつての友人達と会う機会を与えて下さる同窓会総会に感謝の意を表します。誠にありがとうございます。

今年の同窓会開催日は、7月8日（土）、記念事業としては富士河口湖町にある「さくやホール」、講演者はまだ未定ではありますが、皆様の期待に添える方に御来場して頂きます。

最後になりますが、今回も各方面に協賛金を依頼させていただきたいと思います。まだ厳しい社会の世情ですが、皆々様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。第38回同窓会総会が無事に開催され成功を収める為には、実行委員だけでは無く、在校生、卒業生一同、先生方、関係者の方々の協力なくしてはありません。

「河高」という合言葉の元に、この記念事業を皆様の思い出に残る様に、粉骨砕身して取組んでいきますので、御協力の程宜しくお願い致します。

今年の同窓会総会・懇親会は 2017年7月8日（土） 開催決定!!

近況報告

「アイデン＆ティティ」

4期 渡辺一史

写真:昨年「世界遺産おもてなしサミット」でコーディネーターしました。河高生もパネリスト参加です

83年に卒業して進学で上京。バブル全盛期の就職活動はイケイケだったけど、なんだかんだ都会の絵の具に染まることができず、88年、うらぶれちゃった〝なんにもない〟故郷の市役所になんとなく就職したものの、同じ4期生が演劇界で活躍してたり、女子アナ目指してテレ朝出てたり、発見した微生物に自分の名前を付けたなんて聞くと、「僕のいるべき場所はここじゃない」なんて、無意味に悶々と日々を過ごしてた。そんな僕のターニングポイントは30歳を超えてから、長男とのヨチヨチ歩きのお散歩。時代に乗り遅れシャッター通りだと揶揄されていた商店街は、きちんと歩いてみると魅力的な路地裏があってふれてた。「こりゃ使えるぞ」と空き店舗を使ったイベントを企画、シャッター開けたらステキな空間があり、それらは個性的なお店に生まれ変わっていき、連鎖反応でまちは映画撮影のロケ地として利用されていった。更に、地元の人たちにまでも忘れ去られていた〝信仰のまち〟は、富士山世界文化遺産の中心地になり、そんでもってタモリがブラリと来ちゃったり…。大きな2つの湖に挟まれて、素通りされるだけの〝なにもないところ〟だと散々ボロクソ言われてきた富士吉田に、今、追い風が吹いている。住んでいる人たちと（もちろん河高生たちとも）、まちの歴史を振り返り、魅力を掘り起こし、まちに誇りを抱いてもらう。それは、まちを出て日本や世界各地で張り切っている同窓生の故郷を守ること。自慢できる故郷にしていくこと。そんなまちおこし活動を公私混同しながらこれからもやっていこうと考えている今日この頃です。みなさん、お元気ですか―？

新生徒会長より『仲間の声』

40期 生徒会長 渡邊莉緒

私は富士河口湖高校の伝統や今までの先輩方が積み上げてきたものをさらに発展させるために、全校生徒の意見や「想い」を大切にしたいと考えています。

本校の一番の自慢であり誇れることは、最大行事である紫光祭だと思います。本校の学園祭はステラシアターをお借りして、ステージ上で各クラスが思い思いの発表をしています。そのための準備期間や本番数ケ月前の生徒総会では、全校生徒の紫光祭に対する熱い気持ちを感じることができます。生徒総会などで出される多くの意見は全校生徒の「想い」であり、とても大切なものです。ですから来年度は、より生徒の意見を反映させ、一つでも多くの事が実現できる紫光祭を創れるよう努力していきます。

私は、これからの一年間で生徒会長として大切にしたいことがあります。それは「仲間からの声」です。私がリーダーとして前に立てているのも、周りの仲間が応援してくれるからこそです。だからこそ、周りの人への感謝と責任を忘れず、一年間精一杯頑張りたいと思っています。そして、第四十代という節目の一年で今以上に本校の生徒会活動を前進させていきます。